

[2019年11月29日開催]

ブラシプロジェクト：

「GFRP（ガラス繊維強化樹脂）製線材の製法・物性改善勉強会」を開催しました。

（株）イハラ合成に福井大学産学連携本部特命准教授の山根正睦先生をお招きして、「GFRP 製線材の製法・物性改善」についての勉強会・意見交流会を実施し、プロジェクトリーダーのあいち産業科学技術総合センター/産業技術センター 福田徳生主研、伊原会長、（株）太田廣 加藤部長、ら関係者 8 名が参加しました。

山根先生は長年東洋紡（株）で複合材料の成形加工技術の研究開発に取り組み、その間、（株）太田廣の加藤部長とともに、警察官や警備員が凶器による打撃から頭部を守るために軽量で抵抗感なく装着できる繊維強化複合材料製の防護用インナー型保護帽の発明・実用化に成功されたとのこと。その後、東京大学、名古屋大学（NCC）、を経て現職に就かれ、福井県工業技術センター客員研究員、ふくい CFRP 研究開発/技術経営センター（FCC）技術連携統括を兼務されており、1 月度の革新的製品創出サロンでは「熱可塑性コンポジットの実用化研究の現状と課題」についてご講演をいただきます。

勉強会では、脳梗塞から復帰中の伊原会長、福田主研、加藤部長らを中心に活発な討議がなされ、未知添加剤を含む GFRP 成形部品から再生したペレットを原料として学会・業界では無理とされてきた強化繊維含有樹脂の熔融押出による線材成形を試作・評価するに至った経緯と、“とにかくやってみる”の精神で進めてきた成果と限界を説明し、人脈豊富な山根先生から貴重なアドバイスと専門研究者の仲介を得ることができました。

今後は山根先生の人脈を活用させていただき、中小企業だけでは難しい GFRP 線材の化学的構造の解明が進むと期待されます。

（四本 記）